

大垣市奥の細道むすびの地記念館
学芸事業報告書

令和3年度

大垣市教育委員会

目 次

1	展示活動	1
(1)	常設展示	1
(2)	企画展示・収蔵資料展示	2
①	第30回企画展 元禄の有名俳人 芭蕉と木因	2
②	収蔵資料展 おおがき宝モノがたり	4
③	第31回企画展 広がれ！！俳諧仲間の輪 ～美濃国より季語を込めて～	6
2	教育・普及活動	8
(1)	一般向けの活動	8
①	企画展関連講座	8
②	連続講座（おおがき芭蕉大学・おおがき先賢大学）	8
③	総合監修者講演会	9
④	ギャラリートーク	9
(2)	子ども向け活動・学校との連携活動	10
(3)	博物館実習	12
(4)	講師派遣	13
3	資料の収集活動	14
(1)	寄附資料	15
(2)	購入資料	16
(3)	移管資料	17
(4)	預託資料	17
(5)	資料補修	17

1 展示活動

(1) 常設展示

江戸時代の大垣は、城下町・宿場町・港町という3つの要素をそなえており、東西交通の要衝、また、東西文化の結節点として、経済・文化が大きく発展した地であった。経済力・文化力の高さは、俳人松尾芭蕉が『奥の細道』の旅を大垣で終えたことや、江戸時代以降に大垣からさまざまな分野の先賢が輩出したこととも深いつながりがある。

常設展示では、大垣の経済や文化と関わりが深い松尾芭蕉の『奥の細道』と、大垣ゆかりの偉人である先賢について紹介している。

① 芭蕉館

芭蕉館では、松尾芭蕉の『奥の細道』について、ゆかりの資料や映像を交えながら紹介している。「月日は百代の過客にして」で始まる発端の場面から、旅のむすびの地大垣までの場面を、日光路・奥州路・出羽路・北陸路の4つの旅路に分けて紹介し、『奥の細道』全体を深く味わえる展示になっている。

館内の各所には、『奥の細道』の代表的な場面を再現したジオラマを設置しているほか、『奥の細道』の和装本や旅衣装など手で触れるレプリカも展示している。

また、芭蕉の人柄についてもパネルで紹介し、“俳人芭蕉”だけでなく、“人間芭蕉”の魅力にも触れることができる。

② 先賢館

先賢館では、江戸時代後期から幕末・維新时期にかけて活躍した大垣ゆかりの先賢5人を紹介している。蘭方医の江馬蘭斎、植物学者の飯沼慾斎、女流漢詩人の江馬細香、漢詩人の梁川星巖、大垣藩重臣で文人の小原鉄心について、ゆかりの資料と映像を通じて、その生涯と偉業を紹介する。

また、先賢各人の交遊関係についても紹介している。大垣の先賢が日本史上の著名な人物たちと幅広いつながりがあったことを示す。

(2) 企画展示

松尾芭蕉・『奥の細道』と大垣の先賢を紹介する企画展を、春・夏・秋の年3回開催している。春・秋は松尾芭蕉や『奥の細道』関連の企画展、夏は大垣の先賢関連の企画展を開催している。

令和3年度の夏は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う予算減額のため、館外調査・借用を伴わない収蔵品による展示を開催した。

① 第30回企画展 元禄の有名俳人 芭蕉と木因

1) 内 容

17世紀半ば以降、次第に社会が安定し、農村の生産力向上と都市の発展を背景として、全国的に経済活動が活発になる。経済活動の活発化は、さまざまな文化の発展と普及をもたらす。俳諧もまた多くの人々に親しまれるようになった文化の一つである。

俳諧が盛んになり始めた時代に「貞門七俳仙人」の一人に数えられた季吟から、教えを受けたのが芭蕉と木因である。芭蕉は、新しい俳風を求めて各地を訪れ、後世、「旅の詩人」と称された。一方、木因は、大垣俳壇の重鎮として、芭蕉や西鶴ら東西の俳人と広く交流した。

本企画展では、元禄年間（1688～1704）にその名を広く知られた芭蕉と木因について、ゆかりの作品を通して紹介した。

2) 会 期 令和3年3月27日（土）～令和3年5月9日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 1,350人

6) 出 品 点 数 17点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・芭蕉評点「櫻欄森雨」歌仙（個人蔵）
- ・芭蕉筆「ひよろひよろと」句画賛（個人蔵）
- ・芭蕉筆「こもり居て」句短冊（個人蔵）
- ・芭蕉筆「あら海や」句文懐紙（当館蔵）
- ・鈴木其一筆「蓬萊に」句芭蕉坐像（当館蔵）
- ・木因評点「櫻欄森雨」歌仙（個人蔵）
- ・木因筆「大切の」句文懐紙（当館蔵）
- ・木因筆「昇る旭に」句懐紙（当館蔵）
- ・洞竹画・木因賛「葬の」句画賛（個人蔵）
- ・木因筆「青柳や」等二句懐紙貼付木因坐像（個人蔵）
- ・木因使用 厚青貝重硯箱（当館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク ※新型コロナウイルス対策のため実施なし

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）



奥の細道240年の地記念館 第10回企画展

元祿の有名俳人 芭蕉と木因



令和3年 **3/27** 土 ~ **5/9** 日

開館時間 9:00~17:00

とて 大垣市奥の細道むすびの地記念館
1階 企画展示室

企画展関連講座 (大垣市総合福祉会館5階ホール)

芭蕉と木因をどう捉えるか ~これまでとこれから~
4/25(日) 14:00~15:30 ■講師: 母利 司朗氏 (京都府立大学教授)

受講料無料 (事前申込済 3月15日(月)~) 定員80名

大垣市奥の細道むすびの地記念館
〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430

主催/大垣市・大垣市教育委員会
問い合わせ先/文化振興課 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715 http://www.city.ogaki.jp/
奥の細道むすびの地記念館ホームページアドレス http://www.basho-ogaki.jp/
展示室は2017年11月24日現在開館している。展示室が休館する場合があります。
奥の細道むすびの地記念館ホームページにて最新の開催状況を確認の上、お出かけください。

施設案内

利用料	通常料	企画展	観覧・貸出料
一般	300円	100円	無料
団体	1200円	100円	無料
料 金	10歳未満は無料		
開館時間	午前9時~午後5時	午前9時~午後3時	午前9時~午後3時
休 日	祭日(ただし、その翌日~翌後日を除く)		

チラシ (表)

十七世紀半ばは、次第に社会が安定し農村の生産力向上を市の発展を背景として全国的に経済活動が活発になりました。経済活動の活発化は、芭蕉と木因の文化の発展と普及をもたらし、その一人一人に親しまれるようになった文化の一つです。俳諧が盛んになり始めた時代には、「門七俳仙」の一人に数えられた秀吟から教えを受けたのが芭蕉と木因です。芭蕉は、新しい俳風を求めて各地を訪れ、後世、旅の詩人と称されました。一方、木因は大垣俳壇の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。第三十回企画展では、元祿年間(一六八〇~一七〇四)にその名を広く知られた芭蕉と木因についてゆかりの作品を通して紹介いたします。

芭蕉

芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。




展示品

- 芭蕉(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。
- 芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。
- 芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。
- 芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。
- 芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。
- 芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。
- 芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。
- 芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。
- 芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。
- 芭蕉(芭蕉)の俳諧(俳諧)の重鎮として、芭蕉や西郷ら東西の俳人と広く交流しました。

企画展関連講座

日 程	4月25日(日) 14:00~15:30
テ マ	芭蕉と木因をどう捉えるか ~これまでとこれから~
講 師	母利 司朗氏 (京都府立大学教授)
場 所	大垣市総合福祉会館5階ホール (岐阜県大垣市船町124) ※通常料金とは異なりますので、お気を付けてください。
定員・受講料	80名 無料
申込み方法	申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは奥の細道むすびの地記念館ホームページ(http://www.basho-ogaki.jp/)より
問い合わせ先	〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 大垣市教育委員会 文化振興課 TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

チラシ (裏)

参加申込用紙 奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座 芭蕉と木因をどう捉えるか ~これまでとこれから~

氏 名

住 所

電話・e-mail 電話 e-mail

オンライン受講 希望する 希望しない ※どちらかに○印をつけてください。

【オンライン受講について】
 ・展示場裏面にZoom(ズーム)を利用した講座内容をオンライン配信いたします。オンライン受講は原則の予定です。
 ・事前にZoomアプリのダウンロードをお願いします。
 ・ご参加の際は、接続ID及び当日資料等を事前にメールで配信します。musubi@city.ogaki.jp からメール受信ができるよう設定をお願いします。
 ・接続IDの届かない場合は、各自でお知らせください。

【注意事項】
 ・申込者の個人情報、講座に特に関し、本事業は目的以外に一切使用しません。 ※新型コロナウイルスの感染防止のため、中止や変更となる場合があります。
 ・申込み受付の状況については連絡しません。当日、会場にお集まりください。 ※新型コロナウイルスの感染防止対策によっては、すべてのオンライン受講をお断りする場合があります。

② 収蔵資料展 おおがき宝モノがたり

1) 内 容

大垣には、先人が守り伝えてきた大切な「たからもの」がたくさんある。地域の「たからもの」は、郷土の自然や歴史、文化を知る手がかりとなる。また、生活文化の土台となり、さまざまな示唆を与えてくれるものである。

これらは専門用語で「文化財」と呼ばれ、「我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産」と定義されている。

本展示では、先人の思いが詰まった大垣の「たからもの」と、それにまつわる色とりどりの「ものがたり」を紹介した。

2) 会 期 令和3年7月17日（土）～令和3年8月29日（日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
8月20日～9月30日まで休館

3) 会 場 第1会場：1階企画展示室 第2会場：大垣市郷土館1階郷土美術室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 1,075人（開館期間：7月17日～8月19日）

6) 出 品 点 数 第1会場：17点（パネル展示は除く） 第2会場：34点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

【奥の細道むすびの地記念館展示資料】

- ・芭蕉筆「ひよろひよろと」句画賛（個人蔵）
- ・木因筆「黄なものの」句文懐紙（個人蔵）
- ・飯沼慾斎著『草木図説』草之部稿本（個人蔵）
- ・梁川紅蘭使用七弦琴（当館蔵）
- ・江馬細香宛頼山陽書簡（当館蔵）
- ・小原鉄心書簡聚（当館蔵）

【郷土館展示資料】

- ・江馬細香筆「水墨竹之図六態」屏風（個人蔵）
- ・別府細工・中島コレクション（郷土館蔵）
- ・墨俣宿本陣関札（大垣市蔵）
- ・久世友輔木像（郷土館蔵）
- ・清水家旧蔵長篠合戦図屏風（大垣市蔵） ほか

8) 関 連 事 業 お部屋でギャラリートーク（9頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・リーフレット（白黒4頁）

おおがき **宝モノ新聞** 大に とき 令和3年 7/17(金)～8/29(日) 発行時間 9:00～17:00
 ところ 大垣市奥の細道むすびの地記念館 1階 企画展示室
 大垣市郷土館 1階 郷土美術室

「おおがき宝モノがたり」展開催！
 一詳しい内容をお伝えします

昭和天皇もご覧になった!? 草木図説
 昭和天皇もご覧になった!? 草木図説。昭和天皇がご覧になったという伝説がある。昭和天皇がご覧になったという伝説がある。昭和天皇がご覧になったという伝説がある。



昭和天皇がご覧になった!? 草木図説 (複製品、複製品、複製品)



芭蕉真筆「芭蕉、舟中書(複製品、複製品、複製品)

芭蕉真筆を手に入れた!
 曙庵の歡喜やいかに!
 芭蕉真筆を手に入れた! 曙庵の歡喜やいかに!

芭蕉真筆を手に入れた! 曙庵の歡喜やいかに!
 芭蕉真筆を手に入れた! 曙庵の歡喜やいかに!

紅蘭愛用の琴。ついに大垣へ
 紅蘭愛用の琴。ついに大垣へ。紅蘭愛用の琴。ついに大垣へ。

花嫁を迎えた長篠合戦図屏風
 花嫁を迎えた長篠合戦図屏風。花嫁を迎えた長篠合戦図屏風。



花嫁を迎えた長篠合戦図屏風(複製品、複製品、複製品)

紅蘭愛用の琴。ついに大垣へ。紅蘭愛用の琴。ついに大垣へ。

お部屋でギャラリートーク
 お部屋でギャラリートーク。お部屋でギャラリートーク。

花嫁を迎えた長篠合戦図屏風。花嫁を迎えた長篠合戦図屏風。

花嫁を迎えた長篠合戦図屏風。花嫁を迎えた長篠合戦図屏風。

大垣市奥の細道むすびの地記念館 TEL 0584-84-8430
 大垣市郷土館 TEL 0584-75-1231
 主催/大垣市・大垣市教育委員会
 協賛/むすび先文化振興課 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 2F 津島市
 TEL 0584-427807 (直通) FAX 0584-81-0715 http://www.city.gakyo.jp

チラシ (表)

皆さんの「一たからもの」は何ですか。
 私たちが住む大垣には、先人が守り伝えてきた大切な「一たからもの」がたくさんあります。地域の「一たからもの」は、郷土の自然や歴史文化を知る手がかりとなります。また、私たちの生活文化の土台となり、さまざまな示唆を与えてくれるものです。これらは専門用語で「文化財」と呼ばれ、「我が国の長い歴史の中で生まれ、はびくまわれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産」と定義されています。

今回の収蔵資料展では、先人の思いが詰まった大垣の「一たからもの」と、それにつながる色とりどりの「ものがたり」を紹介いたします。この機会に、身近な「一たからもの」に親しんでみませんか。

【奥の細道むすびの地記念館展示品】
 ・芭蕉筆「ひよろよと」句画巻・木田筆「真なるもの」句文
 煙帳・陳蘭筆「水蕉の」句文箱書【市指定重要文化財】
 (個人蔵、記念館預託)
 ・飯沼敬善著「草木図説」草之部稿本附写本【重要文化財】
 (個人蔵、記念館預託)
 ・梁川紅蘭の七弦琴【重要文化財】(記念館蔵)
 ・江崎貞吾宛山陽書簡【記念館蔵】
 ・小原鉄心書簡集【記念館蔵】 ほか

【郷土館展示品】
 ・江馬細書画「水墨竹之図六瓶」屏風【市指定重要文化財】
 (個人蔵、郷土館預託)
 ・別府細工・中嶋コレクション【重要文化財】(郷土館蔵)
 ・墨守保本陣頭札【市指定重要文化財】(大垣市蔵)
 ・清水家旧織長合戦図屏風【大垣市蔵】
 ・久世友輔木書(郷土館蔵) ほか

お部屋でギャラリートーク
 日時 7月29日(木)・8月22日(日) いずれも14:00～15:00
 内容 担当学芸員が展示資料をプロジェクトで楽しながら解説
 場所 奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1
 定員 各20名(先着順)

申し込み方法
 申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは奥の細道むすびの地記念館ホームページ(http://www.baho-ogaki.jp)より
 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 大垣市教育委員会 文化振興課
 TEL0584-47-8067(直通) FAX0584-81-0715

お部屋でギャラリートーク参加申込用紙 FAX 0584-81-0715 (令和3年7月1日(木)から受付開始)

よりがき
 名前 _____
 住所 _____
 電話 _____ FAX _____

日時 参加希望日に○をつけてください。
 7月29日(木) 14:00～15:00
 8月22日(日) 14:00～15:00

※両日とも同じ内容です。

【注意事項】
 申込者の個人情報は、適切に管理し、本事業以外の目的には一切開示しません。申込者の住所等については、個人、法人、団体と区別していません。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や変更となる場合がございます。

チラシ (裏)

③ 第31回企画展 広がれ！！俳諧仲間の輪
～美濃国より季語を込めて～

1) 内 容

芭蕉の門人支考は、美濃を拠点として、俳諧の一派「美濃派」を興す。一派の統率者である道統は、芭蕉を始祖とし、2世を称した支考、3世の廬元坊、4世の五竹坊と続き、5世のとき、以哉坊と再和坊の二派に分かれ、それぞれ継承されていった。

道統は、各地への行脚、芭蕉の顕彰事業、出版を組み合わせることで、美濃派の俳諧を普及させていく。美濃派の俳諧は、地方の農村や都市、さらには、京都・大坂・江戸の三都に広まり、百姓・町人・武士など、身分を越えて多くの人々に親しまれた。

本企画展では、18世紀以降、全国に勢力を広げていった美濃派について、ゆかりの俳人たちの作品や資料を通して紹介した。

2) 会 期 令和3年10月2日（土）～令和3年11月14日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入 館 者 数 2,083人

6) 出 品 点 数 23点（パネル展示は除く）

7) 主な展示資料

- ・東藤画・芭蕉賛「たび人と」謡前書付句画賛（当館蔵）
- ・支考筆「あそこには」句画賛（当館蔵）
- ・竹夜画・廬元坊賛「さくら咲夜や」句画賛（個人蔵）
- ・五竹坊筆「あふむいて」句画賛（個人蔵）
- ・以哉坊筆「漕捨た」句懐紙（当館蔵）
- ・文麗画・再和坊賛「子供には」句画賛（個人蔵）
- ・右麦筆「鳥の音に」句短冊（当館蔵）
- ・曙庵筆 俳人百人一句（個人蔵）
- ・五竹坊裏書 五条式（当館蔵）
- ・五竹坊裏書 二見形文台（当館蔵）
- ・五段重硯箱（当館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク ※新型コロナウイルス対策のため実施なし

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）



支考



五竹坊

広がれ!! 俳諧仲間の輪

美濃国より季語を込めて



芭蕉



蕉元坊

五段重箱箱



二月形文台



企画展関連講座 (大垣市総合福祉会館5階ホール)

美濃派俳人の旅 ~芭蕉と支考の系譜~

11/7(日) 14:00~15:30 ■講師: 玉城 司 氏 (上田女子短期大学特任教授)

受講料無料 定員80名

令和3年 **10/2(土)~11/14(日)**
開館時間 9:00~17:00

ところ **大垣市奥の細道むすびの地記念館 1階 企画展示室**

大垣市奥の細道むすびの地記念館
〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430
主催: 大垣市・大垣市教育委員会
問い合わせ先: 文化振興課 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715 <http://www.city.ogaki.jp/>
奥の細道むすびの地記念館ホームページアドレス <http://www.basho-ogaki.jp/>
新型コロナウイルスの感染防止のため、中止や変更となる場合があります。
奥の細道むすびの地記念館ホームページで、最新の情報をご確認ください。

施設案内

観覧料	大人 300円 子供 150円	観覧料	大人 300円 子供 150円
料	観覧料	観覧料	観覧料
観覧時間	午前9時~午後5時	観覧時間	午前9時~午後5時
休 日	観覧料は、10月29日(土)は休館日	休 日	観覧料は、10月29日(土)は休館日

QRコード

【誰か】のことじゃない。

チラシ (表)

芭蕉の門人支考は、美濃を拠点として俳諧の一派美濃派を興します。五竹坊一派の継承者である道統は、芭蕉を祖とし、二世を称し支考、二世の蕉元坊、四世の五竹坊に続き、五世のとき以故坊と再相坊の派に分かれ、それぞれ継承されていきました。道統は、各地への行脚、芭蕉の顕彰事業、出版を組み合わせて、継続的に行うことで、美濃派の俳諧を普及させていきます。さらには、都・大坂・江戸の二都に広まり、百杖、町人、武士など身分を越えて多くの人々に親しまれました。第三十一回企画展では、十八世紀以降、全国に勢力を広げていった美濃派について、中核の俳人たちの作品や資料を通じて紹介します。



芭蕉の門人支考、蕉元坊、五竹坊、以故坊、再相坊の派に分かれ、それぞれ継承されていきました。道統は、各地への行脚、芭蕉の顕彰事業、出版を組み合わせて、継続的に行うことで、美濃派の俳諧を普及させていきます。さらには、都・大坂・江戸の二都に広まり、百杖、町人、武士など身分を越えて多くの人々に親しまれました。第三十一回企画展では、十八世紀以降、全国に勢力を広げていった美濃派について、中核の俳人たちの作品や資料を通じて紹介します。

芭蕉の門人支考は、美濃を拠点として俳諧の一派美濃派を興します。五竹坊一派の継承者である道統は、芭蕉を祖とし、二世を称し支考、二世の蕉元坊、四世の五竹坊に続き、五世のとき以故坊と再相坊の派に分かれ、それぞれ継承されていきました。道統は、各地への行脚、芭蕉の顕彰事業、出版を組み合わせて、継続的に行うことで、美濃派の俳諧を普及させていきます。さらには、都・大坂・江戸の二都に広まり、百杖、町人、武士など身分を越えて多くの人々に親しまれました。第三十一回企画展では、十八世紀以降、全国に勢力を広げていった美濃派について、中核の俳人たちの作品や資料を通じて紹介します。

展示品

- ・支考「茶そごは」(巻頭)
- ・竹翁「蕉元坊」(50歳頃)
- ・五竹坊「加はた」(巻頭)
- ・以故坊「書はた」(巻頭)
- ・支考「再相坊」(巻頭)
- ・右筆「蕉の巻」(巻頭)
- ・蕉元坊「俳人」(巻頭)

企画展関連講座

日 程	11月7日(日) 14:00~15:30
テ マ	美濃派俳人の旅 ~芭蕉と支考の系譜~
講 師	玉城 司 氏 (上田女子短期大学特任教授)
場 所	大垣市総合福祉会館5階ホール (岐阜県大垣市船町124)
定員・受講料	80名 無料

申込み方法
お問い合わせ先

申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは奥の細道むすびの地記念館ホームページ(<http://www.basho-ogaki.jp/>)より
〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 大垣市教育委員会 文化振興課
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座

美濃派俳人の旅 ~芭蕉と支考の系譜~

参加申込用紙

名 前

住 所

電話・FAX番号

FAX

0584-81-0715

チラシ (裏)

2 教育・普及活動

(1) 一般向けの活動

① 企画展関連講座

月 日	内 容	講 師	参加者
令和3年 4月25日（日）	第30回企画展関連講座 芭蕉と木因をどう捉えるか —これまでとこれから—	京都府立大学教授 母利 司朗 ※リモート講演	63人
11月7日（日）	第31回企画展関連講座 美濃派俳人の旅 —芭蕉と支考の系譜—	上田女子短期大学 特任教授 玉城 司	55人

② 連続講座

1) おおがき芭蕉大学

月 日	内 容	講 師	参加者
令和3年 7月11日（日）	芭蕉と能順 —俳諧師と連歌師—	筑波大学教授 綿拔 豊昭	68人
8月8日（日）	近代俳人が求めた芭蕉像 —正岡子規・山口誓子等を例に—	愛媛大学准教授 青木 亮人 ※リモート講演	59人
12月19日（日）	其角・嵐雪・桃隣 —江戸の多彩な俳諧師たち—	和光大学准教授 稲葉 有祐	56人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う「大垣市非常事態宣言」の影響により、次のとおり、日程を変更して開催した。

内 容	変更前	変更後
其角・嵐雪・桃隣 —江戸の多彩な俳諧師たち—	令和3年 9月19日（日）	令和3年 12月19日（日）

2) おおがき先賢大学

月 日	内 容	講 師	参加者
令和3年 12月5日(日)	江馬蘭斎の学問	神田外語大学 日本研究所客員教授 松田 清	63人
令和4年 1月23日(日)	承久の乱と美濃武士	富山大学講師 長村 祥知	75人 (申込人数)
2月6日(日)	ジオ鉄の先駆者 脇水鉄五郎	東京都立大学 非常勤講師 矢島 道子	79人 (申込人数)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う「大垣市非常事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」の適用区域指定の影響により、次のとおり、中止とした。

内 容	変更前	変更後
承久の乱と美濃武士	令和4年 1月23日(日)	中止
ジオ鉄の先駆者 脇水鉄五郎	2月6日(日)	中止

③ 総合監修者講演会

月 日	内 容	講 師	参加者
令和3年 11月3日(水)	芭蕉は連句をどのように変えたのか —芭蕉流の付合手法とその影響—	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	40人

④ ギャラリートーク

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、企画展示室でのギャラリートークを実施しなかった。

ただし、収蔵資料展「おおがき宝モノがたり」の関連事業として、担当学芸員が展示資料をプロジェクターで映しながら解説する「お部屋でギャラリートーク」を実施した。

【お部屋でギャラリートーク】

- ・ 月 日 令和3年7月29日(木)
令和3年8月22日(日)

※8月22日(日)は、「まん延防止等重点措置」の適用区域指定の影響により中止とした。

- ・ 会 場 2階多目的室1
- ・ 内 容 担当学芸員が展示資料をプロジェクターで映しながら解説
- ・ 参加人数 令和3年7月29日(木) 18人
令和3年8月22日(日) 18人(申込人数)

(2) 子ども向け活動・学校との連携活動

① 大垣市内小学校6年生見学事業

市内小学校全22校のうち15校、917人（引率職員を含む）を受け入れた。

令和3年度 大垣市内小学6年生奥の細道むすびの地記念館見学日程

学校名	参加人数（人）				日程		
	児童	引率職員	計	クラス	月日	曜	見学時間
1 中川 小学校	122	5	127	4	6月22日	火	10：00～11：45 14：00～15：45
2 青墓 小学校	73	3	76	2	6月25日	金	9：00～11：15 13：00～15：15
3 綾里 小学校	20	2	22	1	6月29日	火	10：00～11：45
4 荒崎 小学校	50	4	54	2	7月2日	金	9：00～10：40 12：50～14：30
5 牧田 小学校	14	1	15	1	7月8日	木	10：00～11：45
6 一之瀬 小学校	4	1	5	1			
7 多良 小学校	11	2	13	1			
8 時 小学校	3	1	4	1			
9 興文 小学校	85	3	88	3	7月9日	金	9：00～11：15
10 南 小学校	65	5	70	2	7月12日	月	9：00～11：15
11 小野 小学校	157	6	163	4	7月15日	木	10：00～11：40 14：00～15：40
12 江東 小学校	86	4	90	3	11月10日	水	10：00～11：45 14：00～15：45
13 墨俣 小学校	42	3	45	2	11月12日	金	10：00～11：45
14 日新 小学校	32	2	34	1	12月7日	火	9：00～10：50
15 北 小学校	107	4	111	3	12月14日	火	10：00～11：40 13：40～15：10
合計	871	46	917	—			

1) 目 的

芭蕉や俳句に対する興味関心を高めるとともに、郷土や先賢の偉業に対する理解を深め、ふるさとを愛する態度を養う。

2) 学習内容

- ・AVシアターの映像視聴で松尾芭蕉と奥の細道紀行について学ぶ。
- ・芭蕉館・先賢館において、担当者による展示解説などを通して松尾芭蕉や大垣の先賢等について学ぶ。
- ・船町川湊を散策し、名勝「奥の細道の風景地」の景観に触れ、俳句の種を見つける（十六万市民投句に投句する）。

② よろづ芭蕉相談室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

③ その他

依頼に応じて実施した子ども向け活動・学校との連携活動は、以下のとおりである。

月 日	活動内容	備 考
令和3年 9月30日（木）	ふるさと大垣はかせになろう —大垣城について—	大垣市立安井小学校3年生 出前講座
10月20日（水）	The Basho Theater 座・芭蕉劇場 —振り返る『奥の細道』芭蕉・ 曾良— (寸劇)	大垣市立西小学校5年生 出前講座

(3) 博物館実習

3大学、4人を受け入れた。

① 実習概要

日 時	令和3年7月30日（金）～8月3日（火） 8:30～16:30		
場 所	7月30日（金）	奥の細道むすびの地記念館	
	31日（土）	奥の細道むすびの地記念館	
	8月1日（日）	奥の細道むすびの地記念館、郷土館	
	2日（月）	奥の細道むすびの地記念館、郷土館	
	3日（火）	奥の細道むすびの地記念館、郷土館	
実習生	愛知学院大学	文学部 歴史学科	1名
	愛知学院大学	文学部 日本文化学科	1名
	滋賀県立大学	人間文化学部 地域文化学科	1名
	東海学園大学	人文学部 人文学科	1名

② 実習内容

実習日	実習内容
7月30日 (1日目)	1) 講話「奥の細道むすびの地記念館について」 <ul style="list-style-type: none"> ・展示室の見学と展示方法について ・収蔵庫の見学と資料管理の方法、留意点について ・歴史資料を扱う際のルールや注意すること 2) 実習「掛軸・卷子・和本の取扱い」 <ul style="list-style-type: none"> ・掛軸の掛け方・巻き方、卷子の開き方・巻き方、和本の開き方
7月31日 (2日目)	1) 講話「展示解説」 <ul style="list-style-type: none"> ・展示資料の解説 ・展示の工夫、解説の方法 2) 実習「模擬ギャラリートーク」 <ul style="list-style-type: none"> ・資料を1点選び解説 3) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」 <ul style="list-style-type: none"> ・赤坂宿本陣関係文書の現状記録調査カードへの記入 ・写真及びスケッチによる記録 ・中性紙封筒への保存の仕方 ・古文書の読み取り実習（くずし字用例辞典の活用） ・古文書の開き方やたたみ方
8月1日 (3日目)	1) 講話「展示の企画」 <ul style="list-style-type: none"> ・展示の企画の考え方、手順 2) 実習「展示ケース・展示台等の採寸」 <ul style="list-style-type: none"> ・展示会場（郷土館1階郷土美術室）の確認 ・展示ケース・展示台等の採寸 3) 実習「展示資料の調査」 <ul style="list-style-type: none"> ・展示資料の選定・採寸

実習日	実習内容
8月2日 (4日目)	1) 実習「展示資料の調査」 ・展示資料の解説文作成 2) 実習「展示パネルの作製」 ・資料解説のパネル・キャプションの作製
8月3日 (5日目)	1) 実習「展示パネルの作製」 ・資料解説のパネル・キャプションの作製 2) 実習「展示作業」 ・「大垣と芭蕉」のコーナー展示

(4) 講師派遣

月 日	講座・講演会名	内 容
令和3年 7月7日(水)	大垣市かがやき出前講座	小原鉄心の人脈 —近代大垣出身者への影響に注目して—
8月4日(水)	大垣市かがやき出前講座	大垣市収蔵資料展「おおがき宝モノがたり」の見どころ
12月16日(木)	大垣市かがやき出前講座	「元禄時代(1688～1704)の大垣俳人を知ろう」発行に寄せて

3 資料の収集活動

奥の細道むすびの地記念館は大垣の歴史と文化を世界発信するため、次の3分野に関連する資料を積極的に収集し、それらを保管、公開（情報発信）及び専門研究を行うことを基本的な柱とする。

I 芭蕉館に関連する資料の収集について

- i 松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門、全国の元禄期俳人、美濃派道統、近世俳諧史に関連する人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。
- iv 特に松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門に関連する資料は網羅的に収集する。

II 先賢館に関連する資料の収集について

- i 江馬蘭齋・飯沼慾齋・江馬細香・梁川星巖・小原鉄心の五先賢に関連する資料及び五先賢に関連する重要人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。

III 大垣の歴史と文化を研究するための資料の収集について

- i 大垣の歴史や文化を知る上で、重要と思われる中世から戦前期までの出来事や人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 大垣の歴史や文化を知る上で、良好な状態で保管が必要と思われる資料や国・県・市指定の重要文化財等も収集対象とする。

収蔵資料点数

	館蔵資料	預託資料	合計
点数	2,082点	265点	2,347点

令和3年度の新規収蔵資料及び資料補修は、以下のとおりである。

(1) 寄附資料

資料名	数量	時代
『別座鋪』(写本)	1冊	幕末
『高齋』(写本)	1冊	江戸中期以降
『芭蕉袖草紙』発句部	1冊	江戸後期
『俳諧古選』	1冊	江戸中期～後期
『別座鋪』(写本)	1冊	幕末
『桃青二十歌仙』	1冊	江戸中期以降
『末若葉』上・下(写本)	2冊	江戸中期
『芭蕉句解』上・下	2冊	江戸中期～後期
『俳諧江戸広小路』上(写本)	1冊	昭和
支考書簡(推定)断簡	1枚	江戸中期
禅可坊画・廬元坊賛 芭蕉坐像	1幅	江戸中期
元文3・4年頃(推定)4月18日付西風宛廬元坊書簡	1幅	江戸中期
廬元坊筆 出羽三山短冊添書草稿	1幅	江戸中期
以哉坊筆「ちかづきの」句支考坐像	1幅	江戸中期
千秋庵筆「秋澄や」句画賛	1幅	幕末～大正
狩野洞春画・雨岡庵賛 へちま図	1幅	江戸後期
廬元坊筆「今や梅に」句文懐紙	1幅	江戸中期
魯松庵筆 蕉門十哲図	1幅	幕末～明治
魯松庵筆「名月や」句短冊	1枚	幕末～明治
『奥羽行』一ノ一～五ノ二(写本)	7冊	明治
『鳳巾の晴』上・下(写本)	2冊	江戸後期
『俳諧雀の森・秘書三疋猿』合巻(写本)	1冊	江戸中期～後期
『東山十百韻』乾・坤	2冊	江戸後期
『仮名遣捷徑』	1冊	江戸中期
『連歌至要抄』	1冊	江戸中期
『名所方角抄』	1冊	江戸前期～中期
『俳諧御傘』(写本)	1冊	江戸中期
『俳諧連歌』(複製本)	1冊	昭和
『獅子庵病中の記』(写本)	1冊	江戸中期
『俳林良材集』上・中・下(合本)	1冊	江戸中期
『白陀羅尼』(写本)	1冊	江戸中期以降
『山中三笑』(写本)	1冊	江戸中期
『俳諧世説』上・下(写本)	1冊	江戸後期以降
『名所小鏡』	1冊	江戸中期

資料名	数量	時代
『付合小鏡』	1冊	江戸中期
『名所発句集』 乾・坤	2冊	幕末
『追善夏供養集』	1冊	江戸後期
『宗祇戻』 西	1冊	江戸後期
『芭蕉庵小文庫』 (写本)	1冊	江戸中期以降
『随斎諧話』 乾・坤 (合本)	1冊	江戸後期
『俳諧四季の遊』	1冊	江戸後期
『秋田路』 (写本)	1冊	江戸中期以降
『俳諧炭俵集注解』 乾・坤	2冊	明治
『蕉門頭陀物語』 (写本)	1冊	江戸後期以降
『はな摘』 下 (写本)	1冊	江戸後期
『彼岸桜』	1冊	幕末
『青田のさそひ』 天	1冊	江戸後期
『一幅半』 (写本)	1冊	江戸中期
『俳諧をだまき綱目』 上・下 (元禄10年版)	2冊	江戸中期
『俳諧をだまき綱目』 上・下 (享保17年版)	2冊	江戸中期
『をだ巻拾遺』	1冊	江戸中期
『深川三会』 天	1冊	江戸後期
『まさな草』 下	1冊	江戸中期
『和語略韻』	1冊	江戸中期
『俳諧四季部類大成』 (天保13年版)	1冊	江戸後期
『俳諧四季部類大成』 (後刷本)	1冊	江戸後期以降
『俳諧四季部類』	1冊	明治
『摺火打』	1冊	江戸中期
『摺火打』 (後刷本)	1冊	江戸中期以降
『詞花類題発句集』	1冊	幕末

(2) 購入資料

資料名	数量	時代
木因筆「青梅や」句懐紙	1幅	江戸中期
『竹の春』	1冊	幕末
荊窓画・鷺江賛 芭蕉坐像	1幅	江戸後期
梅岳画・多代女賛 芭蕉坐像	1幅	幕末
年未詳9月11日付中島逐波宛南条文雄書簡	1枚	明治～昭和
『湘夢遺稿』 上・下	2冊	明治
『雑談集』 上・下	2冊	江戸中期
『月の友集』	1冊	明治

資料名	数量	時代
『徒然草文段抄』一～五	5冊	江戸前期～中期
月海画・文蘇坊賛 芭蕉坐像	1幅	江戸中期～後期
『雙林寺碑銘註 昼錦抄』	1冊	江戸後期
『鳳巾の晴』一～十	10冊	江戸中期～後期
『道の月』上・中・終	3冊	江戸中期～後期
鱸松塘宛梁川星巖・梁川紅蘭書簡	1巻(6通)	幕末～明治
年未詳7月12日付中川某宛梁川星巖書簡	1幅	幕末
尚白・格枝「雨中の吟」両吟歌仙	1幅	江戸中期
来山筆「こと山に」句短冊	1幅	江戸中期

(3) 移管資料

資料名	数量	時代
飯沼愆斎作 押し葉標本「くろゆり」	1面	幕末

(4) 預託資料

資料名	数量	時代
—	—	—

(5) 資料補修

資料名	数量	時代
以哉坊筆「漕捨た」句懷紙	1幅	江戸中期
木因筆「供烏帽子」等二句懷紙	1幅	江戸中期
菱田海鷗筆 七言絶句「苦学欲酬君父恩」(「屠腹の詩」)	1幅	明治以降

大垣市奥の細道むすびの地記念館 学芸事業報告書 令和3年度

発行日 令和4年3月31日

編集・発行 大垣市教育委員会

〒503-8601

岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

TEL:0584-47-8067 (文化振興課 直通) FAX:0584-81-0715